



2013年 観光情報論

第一講

観光情報論

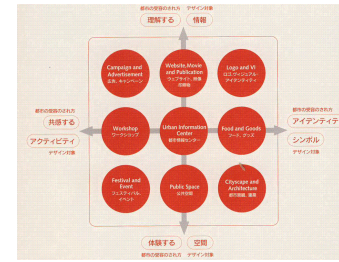
- 県立首里高等学校(アメリカ)
- 立教大学観光学科 (1981)(アメリカ)
- ワシントン&リー大学 派留学 2カ年 (1985) (ドイツ・スイス・オーストリア・カナダ)
- シティコープ証券会社 (1987) (香港)
- 南カリフォルニア大学 都市計画学修士課程修了【日本旅行(株)】(1989) (ベネズエラ・コロンビア・エジプト)
- トーマスクック旅行社 (1991) (イタリア・バチカン市国・フランス)
- ユニファイド・プロダクツ・インク社(1994) (オーストラリア)
- 沖縄キリスト教短期大学 英語科 (1997) (中国・シンガポール・イギリス・韓国)
- ミシガン州立大学 博士課程 入学 (2003) (ミャンマー・ラオス・タイ)
- 琉球大学 法文学部 (2007年10月)(香港・アメリカ)
- 博士 (Doctor of Philosophy, Department of Park, Recreation and Tourism) (2012年2月)

観光情報論...授業内容



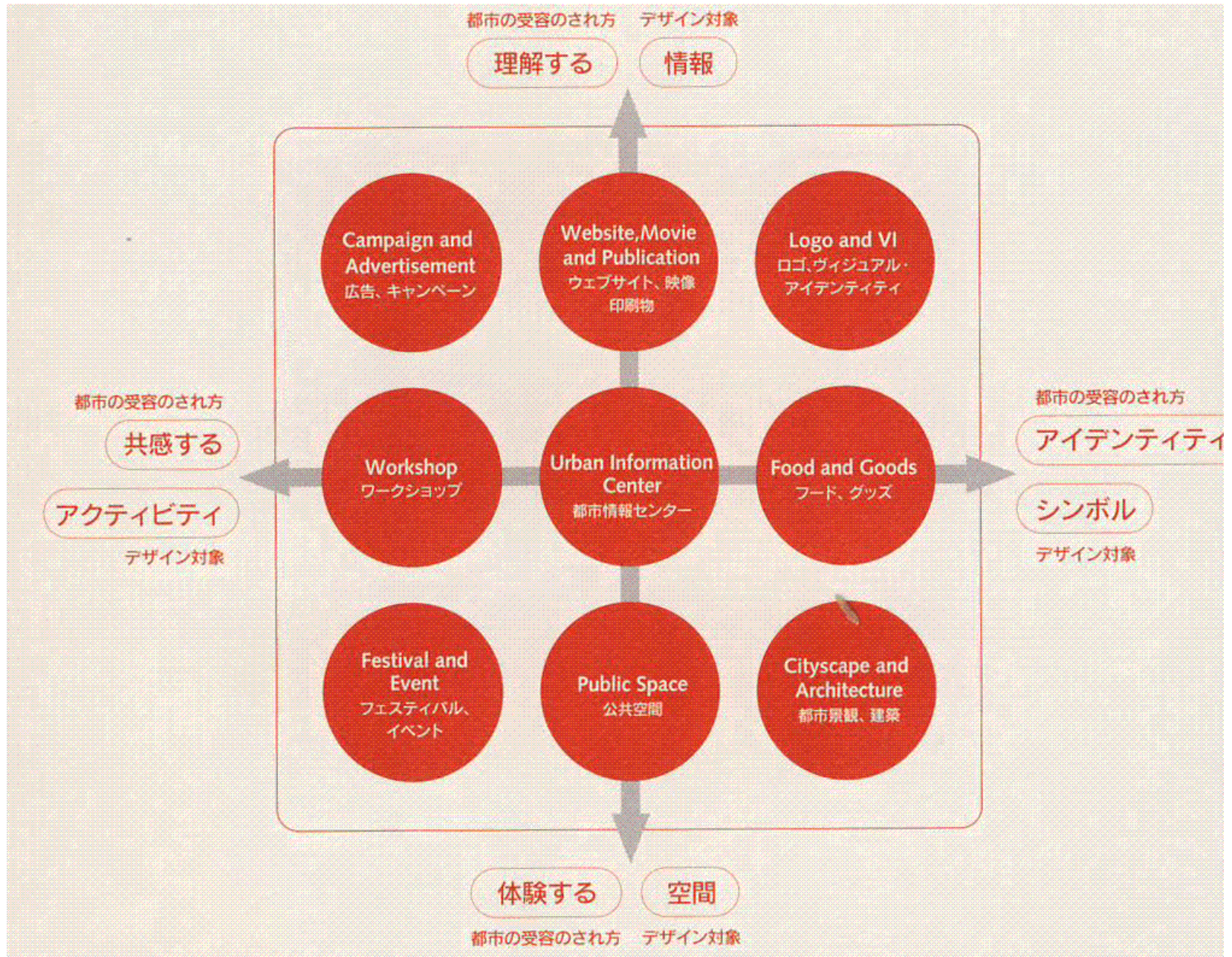
- 成熟した観光地は、従来のマスツーリズムからサスティナブルツーリズムに移行し始めている。また旅行形態にも、滞在型旅行や個人旅行の増加などの変化がみられる。沖縄県の観光も、このような状況下であり、観光の質を高めるために観光情報をより一層充実させ、個人旅行者を含む観光者の視点にたち、観光地住民の生活にも配慮した観光情報システムの構築が望まれている。
- 「観光情報」は広義には「観光に関するあらゆる情報」と、狭義には「観光者が観光をする際のあらゆる場面において必要となる情報」と理解されているが、この授業では狭義の観光情報について概説していく。また観光情報の分類は多々あるが、この講義では、下記の様々な観点から観光情報を概観する。

観光情報



- 都市のCommunication Point (ヨーロッパの都市と情報の連携のケーススタディより)
- Tourism Linkage (観光のあらゆる分野における連携)
- 発地情報・・・観光の対象となる国・地域に対する好ましいイメージを形成させ来訪を動機づける情報(旅行ガイドブック、情報誌、トラベルポータル、地域や企業のウェブページ等・インタープリター)
- 着地情報・・・現地に到着した際、利用する情報(観光情報センター、標識、観光ガイド、Tourism Linkage・フリーペーパー等)
- 評価情報・・・観光事業やサービスについての評価や印象を示しているもの(ランキング情報誌・ブログ等)

都市のコミュニケーションポイント



目的・進め方・評価

この授業では観光者にとっての観光情報について理解するために、国内外の観光情報システムにどのようなものがあるかを講義や事例研究を通して概観する。「新しい観光システム」の提案や「観光情報を発信するウェブページ」を実際に作成することによって、効果的な観光情報システムを創造する際の視点を育てる。講義計画に沿って観光システムの事象についての講義を行い、前半は世界の事例について10回にわたる小テストを行う。後半は学生グループによる実地調査に基づく観光情報ウェブページ作成と発表を通して観光情報システムの在り方について考える。最後に観光情報についてレポートをまとめる。

☆課題提出 e-mail : kaorukom@eve.u-ryukyu.ac.jp

☆Class Webpage : <http://www.cc.u-ryukyu.ac.jp/~kaorukom>

☆Office Hour: Tuesday & Wednesday 11:50-12:50

評価基準	履修条件
■ 小テスト(10回) 25%	◆ 教科書を毎回持参する。
■ ホームページ作成(日・英)(班単位) 50%	◆ 受講生は授業に関して所定の電子メールでいつでも連絡がつけられるようにする。
■ 作成したウェブページの発表 25%	

教科書と参考文献

教科書

- 『できるホームページ HTML入門 インプレスジャパン 2008』
- 『Civic Pride シビックプライド 都市のコミュニケーションをデザインする 伊藤香/紫牟田伸子監修 宣伝会議 2008』

参考文献

- 前田勇 編著 現代観光総論 第三版 学文社, 2006
- 塹江隆著 『観光と観光産業の現状(改訂版)』 文化書房博文社 2006
- 安村克己 他 『観光事業論講義』くんぷる2005